

MADONNA

St.Mary's College Campus Letter

聖マリア学院大学キャンパスレター [マドンナ]
Vol.16





聖マリア学院大学の教育理念

聖マリア学院大学は、「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究を行って、豊かな人間性と深い教養を具え、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を養い、広く人間社会の健康に寄与できる篤実有能な人材を育成することを目的としています。

「本学の国際交流2016」

聖マリア学院大学は、母体となる聖マリア病院と共に、前身の短期大学（昭和61年開学）の時代から保健医療を主軸とした国際交流・支援を行ってきました。また、4年制大学移行後は大学独自に、主に世界のカトリック大学等との連携・国際交流を進展させてきました。

2016年におきましては、従来からのプログラムで、1月には米国ボストンカレッジのS r・C a l l i s t a R o y先生のTV会議システムによる講義（大学院院生対象）、3月には米国ロサンゼルスのマウント・セントメリー大学や同大学関連小児病院の訪問（学部学生希望者）や、ホノルルのセント・フランシス・ホスピス訪問（同）を実施しました。この間新たに、フィリピンのカノッサ大学の姉妹大学締結（サン・パブロ市、ラダナ州）や、同大学からの学長・看護学部長の本学訪問がありました。

8月に入り、新しいプログラムが展開されました。第1回フランス・スコ・プログラムの韓国での開催です。日本からは32名のカトリック大学に在学する学生が参加し、本学からは5名の学生が参加しました。本学学生に対しては、新設した国際交流基金から渡航費用他全額を支出させて頂きました。同プログラムのこの

ンターにおいてボランティア活動等を継続しています。今年度からは、先述したカノッサ大学の先生方のご指導も受けることが出来、さらに同大学の看護学生との共同地域実習も新たに行うことが出来ました。下旬のグループは、ラオスとタイに出かけました。ラオスでは、聖マリアグループのアイサップというNGOが農村地区の保健衛生活動を行っており、充実した指導の下に実習を例年行っています。タイに移動した後は、姉妹大学のセントルイス・カレッジの先生方のご指導により、タイの保健医療制度等を学びました。また市中の保健活動の視察やH I V施設等の訪問など、姉妹大学の支援を受けて充実した活動を行ったようです。本学としては、姉妹大学交流に関するリニューアル調印式を同大学で行い、今後のより充実した交流促進について協議を行いました。

聖マリア学院大学の教育の特色

- 「人間の尊厳・生命を尊重する倫理、生命倫理教育」による倫理的判断能力／専門職としてのケアリング／ヒューマンケアの実践能力の育成
- シスター・カリスタ・ロイ博士提唱の「ロイ適応看護モデル」に基づく科学的思考と問題解決能力の育成
- 聖マリア病院とともに長年の国際保健医療協力に連携して実践している「国際看護学」の教育

学生版は、ボランティア活動を日韓の学生がアジア各地で一緒に行うことを目的としたものです。韓国のカトリック大学（12大学）の約80名の学生諸君と韓国内5ヶ所でボランティア活動を行い、8日間の日程で、諸活動を日韓の学生が共に分かち合うことにより、共通の心情を持ち合うことが出来たようです。これに先立ち、韓国のソウル・カトリック大学総長と、インチョン・カトリック大学総長が来日され、次年度の準備を協議しました。次年度は長崎で、日韓の学生がボランティア活動を行う予定です。次年度には、本学の姉妹大学であるタイ・バンコクのセントルイス・カレッジより5名の参加が予定されています。日韓に加え、タイの学生も参加した3ヶ国の学生による国際協働のボランティア活動が実施されることになります。素晴らしいことだと思っています。

従来からの活動も充実したものになりました。8月上旬・下旬に、本学国際コースの学生（3年生・4年生）が3ヶ国へのフィールド・スタディーやボランティア活動を行いました。上旬には、フィリピンのマニラ近郊のブリハンにて、貧困地区における子供さん達への衛生教育活動を通じた交流、またマニラのトンド地区（極貧地区）に展開する、マザーテレサの家やカノッサ修道女会の保健セ

聖マリア学院大学は、大学としては比較的小規模ではありますが、九州地区の看護大学コンソーシアムにおいても、この国際看護領域への活動の豊富さと実効性に期待を寄せられています。カトリック大学として、世界中のネットワークを活かし、更に充実したものになりたいと思っています。



学長 井手 三郎

profile

筑波大学大学院修士課程医科学研究科医科学専攻修了。博士（医学）九州大学。聖マリア学院短期大学・教授。学校法人聖マリア学院・事務局長。学校法人聖マリア学院・理事長（平成16年8月～）、聖マリア学院大学・教授（平成18年4月～）、聖マリア学院大学大学院・教授（平成22年4月～）。平成27年4月1日より現職に就任。

CONTENTS

目次

- 1 巻頭言
「本学の国際交流2016」
- 3 特集 JICA病院経営・財務管理コース(C)の参加者を迎えて
「世界の医療を体感する研究交流」
- 5 大学院 看護学研究科へのお誘い
「研究者・教育者を育てる
修士論文コースと
高度実践看護師を育てる
専門看護師コース」
- 7 CAMPUS TOPICS
「召命のつどい いのちの尊厳と看護の使命を誓う」
- 8 CAMPUS TOPICS
「熊本地震『被災地支援』への取り組み
【傾聴ボランティア】」
「くるめクリーンパートナー活動に登録しました。」
- 9 平成28年度
外部研究費等の採択状況について
- 10 財務状況等の公開（平成27年度決算の概要）



VOICE

特別講義を受けて～ 学生たちの感想

ベッドを数人でシェアしている
ベトナムの話に驚きました。

お話を聞いて海外のことに
興味を持ちました。
私も目標を持って学んでいきたいです。

日本のことしか知らなかった。
国によって必要な医療が違ってくる
ことがよく理解できました。

研修に海外から来られている方々が、
目標を持って学んでいるということが
伝わりました。



特集

JICA病院経営・財務管理コース(C)の参加者を迎えて

世界の医療を体感する研修交流

2016年11月16日(水)の国際保健論(秦野環准教授)の授業において、

独立行政法人国際協力機構(JICA)病院経営・財務管理コース(C)の

医療研究者の方々をお招きし、自国の紹介と学生たちとの質疑応答を行いました。

115名の学生が参加した 熱気あふれる特別講義

今回、本国では医療の中核を担っていくスペシャリストでもある医療研究者の方々を本学にお招きしました。この医療研究者のみなさんは、JICA病院経営・財務管理コース(C)で聖マリア病院に研修に来られた方々です。こうした日本での医療経営や専門医療の学びは、海外における医療貢献に大いに役立てられており、本年度は9カ国の方々が参加されました。学生たちには、日本との感覚の違いを知り、世界を身近に感じてもらいたいという、北アフリカ(スーダン)、南アジア(モルディブ)、東南アジア(ベトナム)3国の紹介と、医療の現状について海外医療研究者による特別講義を行いました。また、この特別講義を受けるにあたり、学生たちは3班に分かれ、それぞれの国のことを事前に調べて授業に臨みました。

人口7割の医療費が 自己負担。その訳は……

最初に発表したハイデル氏は、スーダンの連邦保健省治療薬健康保険部の部長を務めています。

ナイル川を有し、7つの国と国境を接する北アフリカのスーダン。アラブ人が多数を占める中、597の民族と400もの異なる言語を持つなどの説明が行われました。

地方分権が進み18の州にはそれぞれ保健省が置かれています。特に学生たちの興味を引いたのが、健康保険の加入人口が3割で、あとの7割が保険に入っていないというスーダンの現状でした。

ハイデル氏はこう答えます。「自己負担で医療費を支えるだけの十分な収入があるからです」。学生たちは驚きの声を上げます。

スーダンは石油や鉱物などの天然

資源に恵まれていて、着実な経済成長の歩みを進めている国です。また、保険に入っているのは多くが政府の職員であり、もしも医療費が高額で払えないことがあっても政府やNGOなどの組織が補てんをする仕組みがあるという説明が行われました。

病院数、医療専門家の 充実が課題

続いて発表を行ったのは、モルディブのインディラ・ガンディー記念病院財務部上級会計担当官であるナビバ氏です。

豊かなサンゴ礁の環境に囲まれ、千数百もの島々からなるモルディブは、インド洋の宝石箱と言われる世界屈指のリゾート国です。「何百年をかけて、海外からの来訪者が住み着いた島です」と美しいモルディブの海の写真を見せながら話すナビバ氏。

学生たちは、急激に減少した乳幼児の死亡率について質問を投げかけます。「ワクチンの接種がきっかけですか?」と問う学生に、「そうです。ワクチン接種の広がりによって死亡率が激減しました」とナビバ氏はうなずきます。モルディブは皆保険制度であるけれども、病院数の不足、医療専門家の不足を課題としています。患者の受診については、訪問ケアなどの医療サービスはなく、受診のために施設がある大きな島までやってこなければならぬという現実があります。

高度な医療を求めて 都市に集中する患者数

最後の発表は、ベトナム国立眼科研究所小児眼科副科長のティン氏です。開発途上国として成長を遂げるベトナムは、9170万人もの人口を誇り、今も増加傾向にあります。生活水準は上がっていますが、都市部と農業を行う山間の地域との格差が広がっています。

ティン氏は、国・州・地域コミュニティという4つの医療体制の図を示しながら、山間部における医師不足と、病院の混雑ぶりについて写真を見せながら話します。「小児は4人で一つのベッド、成人は2人で一つのベッドを分け合います。医療サービスは国民の需要を満たしていません」。

列をなした診察待ちの患者を診て、「患者がこんなに多いのはなぜですか?」や、「新生児の看護ケアについて教えてください」、「日本との連携はどんなふうに行っていますか」など、たくさん学生たちが質問を行いました。経済的な成長を遂げるベトナムは、道路や交通機関のインフラが進み、高度な医療を求めて都市部に患者が集中していることと、医師も地方に行きたがらないなどの問題も抱えている現状が学生たちに伝えられました。



研究者・教育者を育てる 修士論文コースと 高度実践看護師を育てる 専門看護師コース

修士論文コース (Master's Thesis Course)

1 修士論文コース 「健康・療養支援看護学領域」

ヘルスプロモーション看護学、小児・子育て支援看護学、クリティカルケア看護学、療養支援慢性看護学、老年看護学、精神看護学の6つの分野で、看護に必要な理論や概念を理解し、看護ケアの質改善を導くエビデンスについて、研究を通して探求します。

2 修士論文コース 「MCH(周産期・母子)看護学領域」

各ライフステージにある女性および周産期にある母子と、その家族に対する理論や概念について理解し、実践と研究への適応を探求します。

3 修士論文コース 「統合看護学領域」

看護政策・管理・教育システム(国際比較)、国際看護学の2つの分野で、看護制度、国際看護について、研究を通して探求します。

CNS(専門看護師)コース (Certified Nurse Specialist Course)

慢性専門看護師コース、
及び母性看護専門看護師コースを開講

CNS(専門看護師)の教育理念／ 日本看護系大学協議会認定・38単位課程

専門看護師は、対象のクオリティ・オブ・ライフの向上を目的として、個人、家族及び集団に対してケアとケアの融合による高度な看護を提供します。本課程では、看護学の知識・技術を用いて、対象の治療・療養・生活過程の全般を統合・管理する、卓越した看護ケアについて修得します。

1 CNSコース 「慢性専門看護師」

慢性疾患を病む人々の看護に必要な理論や概念、CNSの機能について理解し、患者(クライアント)の自己管理能力とQOLを高め、地域社会に貢献しうる高度な実践について修得します。

2 CNSコース 「母性看護専門看護師」

各ライフステージにある女性及び周産期にある母子とその家族に対する理論や概念を理解し、高度実践看護師として地域に貢献するために必要な理論に基づく支援技術について修得します。

平成29年度 大学専攻科 助産学専攻 受験案内

1.修業年限・入学定員他

助産学 専攻	修業年限	入学定員	入試区分
	1年	15名 (女子のみ)	推薦入試:10名 ※内部推薦を含む 一般入試(前期):5名 一般入試(後期):若干名

卒業後の資格
助産師国家試験受験資格 受胎調節実地指導員資格

2.出願期間・試験期日他

推薦入試			
出願期間	試験期日	合格発表日	入学手續締切日
平成28年9月1日(木)～ 9月9日(金)	平成28年 9月17日(土)	平成28年 9月30日(金)	平成28年 10月13日(木)

一般入試(前期)			
出願期間	試験期日	合格発表日	入学手續締切日
平成28年10月3日(月)～ 10月13日(木)	平成28年 10月22日(土)	平成28年 11月2日(水)	平成28年 11月15日(火)

一般入試(後期)			
出願期間	試験期日	合格発表日	入学手續締切日
平成29年2月1日(水)～ 2月16日(木)	平成29年 2月25日(土)	平成29年 3月3日(金)	平成29年 3月16日(木)

平成29年度 大学院 看護学研究科 受験案内

1.修業年限・入学定員他

看護学 研究科 (修士課程)	修業年限	入学定員	入試区分
	2年※	12名 (男・女)	一般入学試験 社会人特別選抜試験

※4年を上限に長期履修制度あり。

2.募集研究領域

■ 健康・療養支援看護学領域

- 1.修士論文コース
 - ・ヘルスプロモーション看護学分野
 - ・小児・子育て支援看護学分野
 - ・クリティカルケア看護学分野
 - ・療養支援慢性看護学分野
 - ・老年看護学分野
 - ・精神看護学分野

2.慢性専門看護師コース(CNS)

■ MCH(周産期・母子)看護学領域

- 1.修士論文コース
- 2.母性看護専門看護師コース(CNS)

■ 統合看護学領域

- 1.修士論文コース
 - ・看護政策・管理・教育システム(国際比較)分野
 - ・国際看護学分野

3.出願資格認定審査申請期間

入試区分	出願期間
秋期(一般、社会人)	平成28年9月1日(木)～9月16日(金)
春期(一般、社会人)	平成29年1月5日(木)～1月17日(火)

※出願資格によっては、事前に出願資格認定審査の受審が必要な場合があります。(詳細は募集要項をご参照ください)。

4.出願期間・試験期日他

秋期(一般、社会人)			
出願期間	試験期日	合格発表日	入学手續締切日
平成28年10月3日(月)～ 10月13日(木)	平成28年 10月22日(土)	平成28年 11月2日(水)	平成28年 11月15日(火)

春期(一般、社会人)			
出願期間	試験期日	合格発表日	入学手續締切日
平成29年2月1日(水)～ 2月16日(木)	平成29年 2月25日(土)	平成29年 3月3日(金)	平成29年 3月16日(木)

週末・夕刻開講による 社会人学生への修学支援

週末・夕刻開講、個別ゼミ学習、
単一科目履修制度、長期履修制度

在職中の社会人を対象とした修学支援として、週末や夕刻の時間帯に集中講義や個別ゼミなど、柔軟なカリキュラム選択・時間割設定を提供しています。また、在学期間を予め3年間もしくは4年間の設定とし、計画的カリキュラム進度を設計する“長期履修制度”や、特定の授業科目のみを受講する“科目等履修制度”を設け、各種奨学金制度と併せて、キャリアアップを目指す、志高い看護職の方々を支援します。



本学大学院では詳しい資料を請求することができます。大学入試事務室までご連絡ください。
TEL.0120-35-7271 また大学院のサイトは以下のQRコードからもアクセス可能です。



MOBILE SITE
モバイルサイトは
こちらから

聖マリア学院大学 大学院

検索

召命のつどい

いのちの尊厳と看護の使命を誓う

本学の前身、聖マリア短期大学における「祝帽式（戴帽式）」はその伝統を継承しつつ、学生一人一人が看護専門職としての歩みの決意を新たにすることとして、現在では「召命のつどい」と名前を変え執り行われています。

平成28年度も聖マリア病院内、雪の聖母聖堂において看護学部1年生（106名）が、司祭やご家族、ご来賓、そして本学教職員に見守られる中、厳かに式に臨みました。



Facebookページで学校行事等について随時紹介を行っています。
聖マリア学院大学のFacebookには、以下アドレスか、QRコードからアクセスできます。

<https://www.facebook.com/聖マリア学院大学-131349520345022/>






VOICE 学生たちの感想

看護学部1年 中川原 亜美さん

厳粛な空気の中で行われた「召命のつどい」に参加して、自分の選んだ道を見つめ直し、漠然とした甘い考えに区切りをつけました。専門的な学問の日々の中、気持ちが悪く不安に揺れていた私。この日、周りも同じように不安を抱えながらも頑張っていることを知り、自分が目指す看護師になるために頑張りたいと思いました。

看護学部1年 古場翔子さん

私は自分の目指すべき看護師像を考えました。本学にふさわしい人格と行動を意識しなければと思う私の心を、ロウソクの火が見通しているようでした。「人を人として接することができるのが、あなたたちの目指す看護師である」。ジュゼッペ神父様の言葉を胸に、いのちの奉仕者として、日々の勉学と愛の精神を一生懸命に努めていきます。

熊本地震「被災地支援」への 取組み「傾聴ボランティア」

この度の熊本、大分地方を中心とした大規模地震災害に際し、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災され、今なお困難な生活を強いられている方々へ、衷心よりお見舞いを申し上げます。

本学におきましては、同窓会組織等の協力を得ながら、震災直後より



学内外での募金活動、支援物資の搬入等、支援活動を行って参りました。が、一定期間の経過を経て、支援ニーズの多様化、長期化が想定される中、地域の要請に応じた支援活動への取組みを継続していくこととしております。

今回、機会を得て、熊本託麻台リハビリテーション病院（熊本市中央区）において、患者様の食事介助、足浴補助等を含め、傾聴ボランティア活動を継続的に実施させていただくことになりました。

将来、看護職を目指す本学の学生にとつて、いまだに地震の恐怖の中におられる方々の心に寄り添い、ケアの実践を学ぶ機会でもあり、参加の学生はそれぞれに患者様との関わりの中で、有意義な時間を共有させていただいているものと思われま。

被災地の復旧、復興をお祈りしつつ、引き続き支援活動を行っていくものです。

くるめクリーンパートナー 活動に登録しました。

聖マリア学院大学地域貢献センターの活動の一環として、久留米市の活動の一環である「くるめクリーンパートナー」に登録しました。

この活動は、久留米市が市民や事業者等と協働して環境美化に取り組むことで、まちを清潔にするとともに、ゴミのポイ捨て予防に取り組むことを目的としています。久留米市に登録後、年間

6回以上清掃を行い、実施状況を報告しま



す。久留米市からの活動支援として、ボランティアアゴミ袋の提供や、清掃活動に必要な用具（箒や塵取り、帽子など）を貸与して頂きました。

4月から早速、教職員と学生の皆さんと共に、およそ月一回のペースで、学内周辺の道路や、金丸川沿いの遊歩道のゴミ拾いや草取りを開始しました。

清掃に取り組んでみると、普段何気なく通過していた道沿いに、多くのゴミが廃棄されていることに気が付きました。また、短時間の清掃活動ではありますが、皆で清掃に取り組んだあとは、きれいな道になり、気持ちもすっきりします。清掃活動中には、地域の住民の皆様から声をかけて頂くこともあり、活動の励みになっています。

今後も活動を継続し、綺麗な町づくりに貢献できるように努力して行きたいと考えております。学生の皆様も、ぜひ積極的にご参加下さい。



「貸借対照表」の概要

貸借対照表				平成28年3月31日現在 (単位:千円)
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
資産の部				
固定資産	4,350,887	4,652,889	△302,002	
流動資産	1,819,508	1,613,063	206,445	
資産の部合計	6,170,395	6,265,952	△95,557	
負債の部				
固定負債	182,751	170,484	12,267	
流動負債	182,040	185,048	△3,008	
負債の部合計	364,791	355,532	9,259	
純資産の部				
第1号基本金	5,310,743	5,601,102	△290,359	
第2号基本金	660,000	730,000	△70,000	
第3号基本金	101,200	0	101,200	
第4号基本金	65,000	63,000	2,000	
繰越収支差額	△331,339	△483,682	152,343	
純資産の部合計	5,805,605	5,910,420	△104,815	
負債及び純資産の部合計	6,170,396	6,265,952	△95,556	

「事業活動収支計算書」の概要

事業活動収支計算書				平成27年4月1日～平成28年3月31日 (単位:千円)
収入の部		支出の部		
科 目	決算額	科 目	決算額	
教育活動収入	1,036,107	教育活動支出	1,014,142	
教育活動外収入	6,095	教育活動外支出	0	
特別収入	0	特別支出	132,875	
		予備費	-----	
事業活動収入	1,042,202	事業活動支出	1,147,017	
		基本金組入前当年度収支差額	△104,815	
		基本金組入額合計	△103,200	
		当年度収支差額	△208,015	
		前年度繰越収支差額	△483,682	
		基本金取崩額	360,359	
		翌年度繰越収支差額	△331,338	

学校法人会計について

学校法人は、公益性をもった教育研究の実践主体として、学校の経営を行うことを、その目的としておりますので、一般企業のように営利を活動目的とする法人ではありません。よって、人材育成を含めた教育研究活動の成果を、社会に還元させる義務を負っています。

学校の経営に伴う経理処理については、学校法人会計基準(文部科学省令)により定められており、主要な財務計算書類として「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」及び「貸借対照表」の作成が義務付けられています。

■資金収支計算書
毎会計年度(4月1日～翌年3月31日)の諸活動に対する全ての収入及び支出の内容を明らかにし、当該年度における支払資金(現金及び預貯金)の顧末を表すものです。
＜企業会計の「キャッシュ・フロー計算書」に類似したものです。＞

■事業活動収支計算書
当該会計年度の事業活動収入及び支出の内容と均衡状態を明らかにし、固定資産の経過年の価値の減少(減価償却額)や、将来的な負債を考慮した計算書で、学校法人の財政的な経営状況を表すものです。
＜企業会計の「損益計算書(P/L)」に相当するものです。＞

■貸借対照表
期末(会計年度末)における総資産及び総資金(負債、基本金、収支差額)の価額とその内訳を明らかにし、財政状態の健全性を表すものです。
＜企業会計の「貸借対照表(B/S)」に相当するものです。＞

「資金収支計算書」の概要

資金収支計算書				平成27年4月1日～平成28年3月31日 (単位:千円)
収入の部		支出の部		
科 目	決算額	科 目	決算額	
学生納付金収入	815,499	人件費支出	558,915	
手数料収入	12,923	教育研究経費支出	264,065	
寄付金収入	31,219	管理経費支出	73,787	
補助金収入	97,706	施設関係支出	92,981	
付随事業・収益事業収入	26,004	設備関係支出	7,711	
受取利息・配当金収入	6,094	資産運用支出	124,800	
雑収入	47,467	その他の支出	31,904	
前受金収入	140,265			
その他の収入	128,010	予備費	-----	
資金収入調整勘定	△184,381	資金支出調整勘定	△31,609	
前年度繰越支払資金	1,590,019	次年度繰越支払資金	1,588,271	
収入の部合計	2,710,825	支出の部合計	2,710,825	

法令に基づき、大学等の設置者である学校法人は、当該事業年度における決算関係書類及び事業報告書を作成し、これを広く公開することが求められています。本学においては、理事会・評議員会での承認を経て、財務状況並びに事業報告に関する情報公開を、順次、ホームページに掲載することとしております。本誌では、誌面の都合上、財務状況の概要を掲出します。

財務状況等の公開

(平成27年度決算の概要)

平成28年度 科学研究費助成事業
(学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金)等交付状況

科学研究費助成事業	新規採択者	事業名	採択者氏名	研究課題名	
		基盤研究(C)	白井　ひろ子	看護管理者のための怒り感情マネジメントプログラム開発	
		若手研究(B)	鬼丸　美紀	高齢者のヘルスリテラシーと服薬管理の関連	
	研究代表者	継続採択者	基盤研究(B)	松原　まなみ	口唇口蓋裂児の口腔機能発達を保証する哺乳具の開発と療育支援プログラムの構築
			基盤研究(C)	日高　艶子	半側空間無視の代償行為の獲得を促す主意的役割を用いた看護介入の効果
			基盤研究(C)	田中　千絵	医療が必要な障害児のよりよい地域生活支援のための「医療的ケア必要度スコア」の開発
			基盤研究(C)	中尾　友美	タイムマネジメントスキルを活用した有識糖尿病患者への教育プログラムの開発と評価
			挑戦的萌芽研究	松原　まなみ	演劇を用いたシミュレーション授業と教材開発に関する研究
			若手研究(B)	秦　朝子	一連の看護行為における手指衛生のタイミングに関する研究
			若手研究(B)	渋江　暁春	特別養護老人ホームで働く職員の手指衛生行動と認識に影響する要因の検討
			若手研究(B)	小森　あき奈	倫理教育教材の開発につながる臨床看護師のMoral Residueに関する研究
			研究活動スタート支援	塩汲　望美	心リハを行う心不全患者に対する自己管理能力維持のための看護師による介入効果
			基盤研究(A)	藤堂　省	体外誘導免疫制御性リンパ球を用いた細胞治療による免疫寛容誘導に関する研究(北海道大学)
		研究分担者	基盤研究(B)	日高　艶子	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成(防衛医科大学校)
			基盤研究(B)	安藤　満代	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成(防衛医科大学校)
			基盤研究(B)	谷　多江子	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成(防衛医科大学校)
			基盤研究(B)	石本　祥子	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成(防衛医科大学校)
			基盤研究(B)	小浜　さつき	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成(防衛医科大学校)
			基盤研究(B)	井手　悠一郎	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成(防衛医科大学校)
			基盤研究(C)	安藤　満代	地域在住高齢者のレジリエンス・トレーニングのプログラム開発に関する研究(福岡大学)
	基盤研究(C)		鮎川　春美	在宅で暮らす認知症の人の介護者支援のためのガイドライン開発(福岡大学)	
	基盤研究(C)		松尾　ミヨ子	タイムマネジメントスキルを活用した有識糖尿病患者への教育プログラムの開発と評価(聖マリア学院大学)	
	基盤研究(C)		小浜　さつき	半側空間無視の代償行為の獲得を促す主意的役割を用いた看護介入の効果(聖マリア学院大学)	
挑戦的萌芽研究	松原　まなみ	妊娠糖尿病女性への妊娠糖尿病認定助産師による産後継続支援に関する多施設共同研究(自治医科大学)			
厚生労働省科学研究費補助金(研究分担者)			井手　三郎	ワクチンの有効性・安全性評価とVPD(vaccine preventable disease)対策への適用に関する分析疫学研究	
日本医療研究開発機構委託研究(研究開発代表者)			藤堂　省	制御性T細胞治療による臨床肝移植における免疫寛容誘導法の多施設共同研究	

本学では、教育への還元を前提とした各専門領域における学術研究の推進方策の一環として外部研究資金の獲得を奨励しているところ。独立行政法人日本学術振興会を介した科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野に亘り、基礎から応用までのあらゆる

「学術研究」を進展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、独創的先駆的な研究に対する助成を行うものです。平成28年度の外部研究費に関する採択状況については左記のとおりです。



平成28年度 外部研究費等の採択状況について

在学生、並びにご家族のみなさまへ

◎進級・留年、成績状況、履修状況等の通知について

在学生並びにご家族の方へ対し、所定の時期において、進級・留年の決定や、成績状況、科目履修状況等の通知をお届けしています。学部等の課程別に対象や時期は異なりますが、ご家庭におかれましても、日頃より学校生活に関するお話の機会を持っていたり、側面からの学修支援に、ご理解とご協力をお願いいたします。

◎進級・卒業要件、履修要件にご留意下さい

授業科目の履修に際しては、特に科目登録時における手続漏れが無いよう、学生便覧を参照の上、卒業までに必要となる授業科目(必修科目・選択科目)、単位数について理解した上で、各自の責任において計画的に履修しましょう。

*授業科目に関しては、各々の開講年次や、1年間に登録できる単位数の上限が定められています。

*上級学年に進級するには進級要件を満たす必要があります。

*基盤臨床系科目や、各論実習科目を受講するためには各々の科目の履修要件を満たす必要があります。

◎「保健師」国家試験(選抜制)の受験希望者の単位履修について

～対象:看護学部2012年度以降の入学生～

保健師国家試験の受験資格を得るためには、卒業に必要な単位数に加え、3年次以降に開講される‘地域看護学’に関する所定の科目の単位を修得する必要があります。履修者は学内選抜により決定することとし、履修申し込み手続きは、2年次後期に行う予定です。保健師国家試験を受験希望の方は、手続漏れがないよう、特にご注意ください。

*平成29年度履修者より課程履修費¥80,000が必要になります。



「聖マリア奨学金」制度について(ご案内)

聖マリア学院大学の主たる実習施設であり、運営母体である“聖マリア病院”との更なる協働的・継続的な看護教育に資するため、平成28年4月より、「聖マリア奨学金」制度を運用することとなりましたので、ご案内いたします。

金 額	年間の授業料相当額を上限
返還義務	卒業時に一括返還。但し、卒業後、聖マリア病院もしくは同病院グループ各機関・施設に就職した場合は、所定の条件下で月賦返還。
貸与期間	修業年限を上限
採用人数	若干名
貸与条件	平成28年4月以降入学者(看護学部、助産学専攻、大学院) 家計状況が一定の審査基準を満たしている。 原則、他の奨学金との併用はできない。 ※半年毎に継続の有無を確認し、審査を経て採否を決定。

※入学後に応募説明会を開催します。



St. Mary's
College

聖マリア学院大学

2016年12月発行 聖マリア学院大学キャンパスレター「マドンナ」
発行/聖マリア学院大学 〒830-8558 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)7271 FAX.0942(34)9125

※本誌掲載の写真・図版・記事などの無断使用・転載・複製を禁じます。



MOBILE SITE
モバイルサイトは
こちらから

聖マリア学院大学

検索

ナースキャップと言われて、戴帽式、と思いつく方々はどれだけのだろうか。本学学生を含めた若い世代にとってはドラマの中やハロウィンなどの仮想世界のように見えるのかもしれない。反対に戴帽式を経験された方にとっては、一種の憧れの象徴である戴帽の思い出は青春の一ページとなっているのだろう。今回表紙に採用した、召命のつどいは以前、看護大学で戴帽式と呼ばれたものの後継にあたるもので、主イエスの前で改めて看護者として生きていくことを自覚するものである。時代は変わっても医療従事者への決意と自覚を思い出させる場は必要である。保護者だけでなく聖マリア病院関係者も参列するこの儀式が学生にとって青春の一ページに刻まれることを願っている。(MT)

編集後記